

2014年6月 ITU-R WP1B 会合報告書(案)

- 【会合名称】 ITU-R WP1B 会合
 (周波数管理手法に関する作業部会)
- 【会 期】 2014年6月3日(火)～6月11日(水)
- 【開催場所】 スイス ジュネーブ ITU 本部
- 【概 要】

本会合は今研究期間における第4回会合である。CPM テキスト案の作成締め切り前最後の会合であったことから WRC-15 議題の中で WP1B が所掌する議題(議題 9.1.4、9.1.6、9.1.7)に係る審議を重点的に実施し、すべての議題に関する CPM テキスト案を完成させたほか、長期間にわたって改訂作業を続けてきた勧告 ITU-R SM.1603-1 (Spectrum redeployment as a method of national spectrum management)、報告 ITU-R SM.2012-3 (Economic aspects of spectrum management)、National Spectrum Management (NSM) ハンドブック、勧告 SM.1413-2 : Radio communication Data Dictionary (RDD)の改訂文書が完成し、いずれも SG1 に上程された。なお、WG1B-1 および WG1B-2 から SG1 に上程された文書はなかった。

本会合には 42ヶ国の主管庁と 4の ROA (Recognized Operating Agencies)、13の SIO (Scientific or Industrial Organizations)などから計 133名が参加した。日本からは宮澤氏、白井氏(総務省)、小川氏(ARIB)、森氏(ワシントンコア)の合計4名が参加した。

韓国、中国、米国、ロシア、オランダなどからの入力文書及び前回の議長報告と他 SG グループからのリエゾン文書を含め合計 47件の入力文書が審議され、17件の出力文書が作成された。

本会合では前回会合と同様に 3つの Working Group (WG)が設置され、各議題についての審議が行なわれた。会議の構成は表-1のとおりである。

また、表-2に入力文書一覧を、表-3に出力文書一覧を示す。

表-1 WP1B の会議構成と各グループの担当議題

Working Party 1B 議長 : Mr. N. Al-Rashedi 氏 (UAE)
Working Group 1B-1 議長 : Mr. F. M. Yurdal (Robert Bosch (D)) 担当 : ショートレンジデバイスとその関連事項
Working Group 1B-2 議長 : Mr. N. Al-Rashedi 氏 (UAE) 担当 : WRC-15 関連事項
Working Group 1B-3 議長 : Mr. R.Chang (CHN) 担当 : その他の事項

1 Working Group 1B-1 ショートレンジデバイスとその関連事項（議長: Mr. F. M. Yurdal (Robert Bosch (D))

入力文書：1B/132 (Annexes 7 and 11), 136(WP4A), 137(WP5D), 140(WP4C), 142(WP6A), 145(ICA0), 147(WP7B), 148(WP7C), 149(WP7D), 153(ロシア), 156(中国), 159(オランダ), 161(米国), 162(ドイツ), 164(カナダ), 170(WP5C), 171(フランス), 173(WP5B), 174(WP5A), 175(ATDI)

出力文書：1B/TEMP/80, 81, 82, 83, 86

【主要結果】

入力文書および審議の多くはコグニティブ無線システム及び周波数共用アクセスに関するものであった。ロシアが主導してきた Dynamic spectrum access に関するレポート作成は、DSA の用語を新たに「Cognitive dynamic spectrum access(CDSA)」とし、レポートのスコープはスペクトラム管理の原理原則に限定するとした上で、主題についても WP1A の所掌と重複を避けるために Spectrum engineering という記載を削除し「Spectrum management principles, challenges and issues related to radio systems employing cognitive capabilities」と改められた。これらの審議状況に関するリエゾン文書が発出され、レポート作成に向けた審議を次回会合にて継続することで合意された。なお、本会合において SG1 に上程された勧告、報告案はなかった。

1.1 ショートレンジデバイスと関連事項

入力文書：1B/159 (オランダ)

出力文書：なし

① SRD UWB ワークショップ

2014年1月に開催された CRS ワークショップに続き、本会合の初日に SRD UWB に関するワークショップが SG1/WP1B の主催により開催された。各国地域組織からの代表者が講演者として参加し¹、ITU-R における SRD に関する活動の概要、各地域における SRD の周波数ハーモナイゼーションの状況、RFID、UWB の動向等について情報交換され、SRD のグローバルハーモナイゼーションの重要性が再確認された。ワークショップにおける主な質疑応答は以下の通りであった。

1) SRD の周波数ハーモナイゼーション

RFID などの様々な SRD 機器が各国において様々な周波数で利用されている。周波数ハーモナイゼーションの観点から各国のこれらの状況を収集することが重要である。CEPT では現在、各国主管庁から情報を収集し、これをデータベース化する予定であり、他の地域組織も参考にできるのではないかとこの観点から紹介された。RCC においても現在、SRD に関する報告を作成中であり、その過程で各国における周波数の割当状況に関する情報もあわせて収集する予定である。

また、SRD は各国主管庁や様々な利用者の間において多種多様に定義されていることが再確認された。そのため周波数ハーモナイゼーションを議論する前に、どのような利用が SRD の範疇に入るのかという点を定める必要があるとの見解があった。特に、現在、様々なアプリケーションが SRD に含まれている状況であるが、今後は個別のアプリケーションごとに議論を進め、それぞれに適した周波数や運用規則等を審議していく必要性が周知された。中でも医療アプリケーションについてはグローバルな観点からその定義を定め、周波数ハーモナイゼーションの確立を通じて、無線を活用した医療の発展に寄与していくべきであるとされた。

¹ 各講演者によるプレゼンテーション資料:

<http://www.itu.int/en/ITU-R/study-groups/workshops/RWP1B-SRD-UWB-14/Pages/Presentations.aspx>

2) WPT との関連性

BBC 関係者は ITU は気候変動問題の解決に寄与する責務を負っている点に言及した上で、WPT とは 15~20%の電力が無駄になる仕組みであり、世界中の携帯電話が WPT を使うことになれば膨大な量の電力が無駄になることを意味することから、気候変動問題への対処を検討すべき ITU がこのような非効率な技術を奨励することには賛同できないとした。さらに、WPT は様々な家電機器等に搭載されるものであり、これらが使う周波数を定めるのは ISO の役割であると言及した上で、ITU がこれに介入するのはそもそもの所掌からずれているとし、ITU-R において WPT に関する事項を検討していることそのものについて疑義を呈した。これに対し、韓国が、様々な観点から WPT の技術的研究が実施されており、電力の無駄も極力最小限に抑えられるような技術革新が今後、期待されていること、WP1A においては既に数年前に周波数ハーモナイゼーションという観点から WPT が使う周波数についても ITU-R が関与することが必要であろうとの共通見解に至った経緯を踏まえ、現在審議が進行中であるとの歴史的経緯が説明された。

② 200-600GHz の周波数帯の中で 100GHz 帯をチップ内通信へ分配する提案

(1) 主要結果

WP1B-1 としては作業を行わずに、当面 WP1A-3 の 275GHz 帯以上の能動業務の技術動向に関するレポート草案の動向を注視し、その結果によって SRD のハーモナイゼーション等の作業を開始するかの判断を行うという結論で、本寄書はノートされた。

(2) 審議概要

200-600GHz の周波数帯の中で 100GHz 帯をチップ内通信へ分配する提案に関する寄書に対して、米国からは WP1B のスコープは Spectrum management methodology であり、RR No.5.565 の研究はスコープ外であること、WP1A で作業中の 275GHz 帯以上の能動業務の技術動向に関するレポート草案の作業との重複があること等の指摘があった。これに対してオランダから、SRD のハーモナイゼーションが目的であるために決議 54 に関連していること、ロシアからも SRD のハーモナイズ周波数は現在の勧告あるいはレポートに追加できるので WP1B の作業としては問題ないとの指摘もあった。

一方 WP1A-3 の Sykes 議長(米国)からは、WP1A には 275GHz 以上についての新研究課題があること、さらに 275GHz 以上に関するレポートの作成作業が行われているとの状況説明があった。

以上の議論を踏まえて、議長から本寄書をノートし、当面の間、WP1B では新たな作業は行わず、WP1A の作業を見守り、WP1A の結果によっては SRD のハーモナイゼーションに関するレポートあるいは勧告の作成に向けた議論を再開すればよいとの提案があり、合意された。

1.2 コグニティブ無線システム及び周波数共有アクセス

入力文書：1B/132 (Annexes 7 and 11), 136 (WP 4A), 137 (WP 5D), 140 (WP 4C), 142 (WP 6A), 145 (ICAO), 147 (WP 7B), 148 (WP 7C), 149 (WP 7D), 153 (ロシア), 156 (中国), 161 (米国), 162 (ドイツ), 164 (カナダ), 170 (WP 5C), 171 (フランス), 173 (WP 5B), 174 (WP 5A), 175 (ATDI)

出力文書：1B/TEMP80, 81, 82, 83, 86

(1) 主要結果

新 ITU-R レポート「周波数の共同利用を促進するための革新的な規制事項」作成のための作業文書とレポート草案 SM.[DYNAMIC.ACCESS]に向けた作業文書を議長報告に添付した。さらにレポート草案 SM.[DYNAMIC.ACCESS]に向けた作業文書に関するリエゾン文書を関連WPに発出した。SRD 分類を行うためのアンケート調査とそのための CG の設置が承認された。

(2) 審議概要

1) スペクトラムの共同利用サポート用革新的規制ツール

入力文書：1B/171 (フランス)

出力文書：1B/TEMP/80

フランスから周波数の共同利用を一層促進させるための革新的な規制事項に関する ITU-R レポートを新たに作成する提案が行われ、審議の結果、本寄書に基づき作業文書が作成され、議長報告添付された。

2) レポート草案 SM.[DYNAMIC.ACCESS]に向けた作業文書

入力文書：1B/136 (WP 4A), 137 (WP 5D), 140 (WP 4C), 142 (WP 6A), 145 (ICAO), 147 (WP 7B), 148 (WP 7C), 149 (WP 7D), 153 (ロシア), 156 (中国), 161 (米国), 162 (ドイツ), 164 (カナダ), 170 (WP 5C), 173 (WP 5B), 174 (WP 5A), 175 (ATDI)

出力文書：1B/TEMP/83

議長が各 WP からのリエゾン文書および各寄書のコメントを統合化したテキストを準備し、審議を行った。具体的には、追加されたコメントを文章として残すか、ノートとして文中に残すか、あるいは削除するか等の審議が行われた。特に、第 4.4 条及び脚注 5.340 についてはこのレポートでは含めないという暫定合意があったために、これに関する追加文書はすべて[]扱いとなった。ただし、ロシアからは説明のために第 4.4 条をリッファーすることまでは妨げないとの意見が出されていた。ATDI から提案された文書は Annex 4 として追加することがワーディングは別にして合意された。

Annex 1 は欧州から入力された寄書であったが、WP4C から White space device(WSD)を device employing dynamic spectrum access に変更する提案が行われていたが、Annex 1 は欧州での例を紹介している文書であるために、欧州で定義された用語までを変更する理由はないということで、WP4C からの提案は却下された。ただし文中にノートとして残すことにした。Annex 2 はロシアからの入力であるが、他の Annex との並びからロシアにおける例としてタイトルが変更された。Annex 3 は中国での例を紹介した寄書をベースにしたものであり、変更なく合意された

週末にフランスが中心となって Informal discussion が行われ、その結果も作業文書に反映することになった。主な変更点は下記の 3 点である。

- (1) レポートのタイトルを下記のとおり変更することとなった。旧タイトルには spectrum engineering の用語が使われており、WP1A のスコープとの重複を避けるためにカナダが削除を求めていた。

旧タイトル：Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities

新タイトル：Spectrum management principles, challenges and issues related to radio systems employing cognitive capabilities

- (2) Dynamic spectrum access の用語と定義を変更すること

Dynamic spectrum access の用語を Cognitive dynamic spectrum access(CDSA)の用語に変更することが提案された。その定義としては、「Dynamic Spectrum Access stands for “the capability of an equipment to operate on a temporary unused/unoccupied frequency implementing CRS capabilities and to move to another frequency in case of an emission of the primary user of the band is occurring」が提案されたが、US から IEEE の定義「The real-time adjustment of spectrum utilization in response to changing circumstances and objectives」がベターということで、2つの定義が併記され、次回の審議に持ち越された。

- (3)このレポートはスペクトラム管理を原理原則とすることにフォーカスすべきであり、この観点から考えられる質問を踏まえて、文書の変更が提案された。なお、これらの質問は、このレポートを理解する上でのガイダンス的な役割もあるために、ロシアの提案によってスコープの前に掲載されることになった。

プレナリーにおいて、米国から DSAD についてのレポートでスペクトラム管理のガイドラインの作成は時期尚早であり、さらに DSA は技術であって無線業務ではない等の内容を Country note(statement)として議長報告に記載してほしいとの要請があり、了承された。

3) レポート草案 SM.[DYNAMIC.ACCESS]に向けた作業文書に関するリエゾン文書

入力文書：1B/136 (WP 4A), 137 (WP 5D), 140 (WP 4C), 142 (WP 6A), 145 (ICAO), 147 (WP 7B), 148 (WP 7C), 149 (WP 7D), 153 (ロシア), 156 (中国), 161 (米国), 162 (ドイツ), 164 (カナダ), 170 (WP 5C), 173 (WP 5B), 174 (WP 5A), 175 (ATDI)

出力文書：1B/TEMP/82

米国から共用検討は WP1B では行わない点を強調するための文章の追加が提案されたが、すでに決議 58 の resolves 3 で示唆されているために却下された後、軽微なエディトリアル修正を行って承認されたが、さらにプレナリーにおいても米国からのエディトリアル修正が行われた。

4) SRD 分類を行うための CG 設置

入力文書：なし

出力文書：1B/TEMP/81

SRD ワークショップの結果を受けて、SRD 応用の分類をアンケート調査で行うこと、さらにそのための CG の設置提案が行われ、議長からの推薦で ECO の Thomas Weber 氏が CG 議長に選ばれた。プレナリーでは、SG1 カウンセラからアンケート調査を成功させるために、WP1B のメーリングリストを使った周知を行うこと、さらにメーリングリスト未登録者のためにウェブ登録方法について紹介が行われた。

1.3 ワイヤレス電力伝送(WPT)

入力文書：1B/155 (中国)

出力文書：なし (ただし、本議題に関連して WP1A から 1B/TEMP/79 を出力)

(1) 主要結果

ワイヤレス電力伝送の検討は WP1A-2 で行われているために、本寄書に関する作業は行わずにノートされた。ただし、WPT については WP1A 議長から WP1B 議長への連絡事項が WP1B の出力文書 (TEMP/79) の一環として含められた。同文書では、WP1A で作成中の新報告 ITU-R SM.[WPT.NON-BEAM] (WP1A/TEMP/56) は規制面での強制力はないものの、WPT の利用候補となる周波数情報や一部の主管庁における WPT に関する規制情報等が含まれているため、WP1B においてもその内容を確認することが奨励されており、WP1B においてノートされた。

2 Working Group 1B-2 WRC 関連事項 (議長: Mr. Al-Rashedi (UAE))

入力文書：1B/132 (Annexes 4,5,6), 135 (WP 4A), 139 (WP 4C), 143 (WP 6A), 144 (WMO), 151 (CHN), 152 (CHN), 165 (CAN), 176 (WP 5A)

出力文書：1B/TEMP/73, 74, 75

【主要結果】

WP1B が所掌する議題 9.1 の 3 件の Issue に関する CPM テキスト案が完成した。議題 9.1.4 については入力文書がなく、CEPT 提案により NOC が追加された上で最終化された。議題 9.1.6 についてもこれまでの審議結果が支持され、定義変更は不要であるとする結論が採択された。一方、議題 9.1.7 については前回回会合においてドイツの提案を基に唯一の Option (決議 647 を削除し決議 644 を修正する) が作成されていたが、今回、カナダ、中国からの入力文書を受け、決議 644 を削除する案、決議 647 を修正する案が追加され、合計 3 つの Option が記載される形で CPM テキスト案が

完成した。

2.1 議題9.1.4(無線通信規則の更新と再構成(WRC決議67))

入力文書：1B/132(Annex 4)

出力文書：1B/TEMP/73

(1) 主要結果

本議題に関しては本会合への入力文書がなかったことから前回会合の議長報告(1B/132) Annex 4の内容を確認、審議した。その際、Issue AのArticle 2の修正提案(メトリック表記の削除)については英国の提案によりNOCが追加された。一方、Issue BのRRの条項タイトルの修正についてはこれまでの議論において現状の記載よりも修正した方が各条項の内容が明瞭になるとの理由からNOCは不要であるとする事で合意されてきたが、スウェーデンよりCEPTがCPMにおいてIssue AおよびIssue Bの両方においてNOCを提案する予定である点が紹介され、Issue BにもNOCが記載されていた方がCPMにおける議論を効率的に進められるとしたことから、いずれのIssueにおいてもNOCが追加されることで合意された。上記の修正を経て、CPMテキスト案が完成した。

2.2 議題9.1.6(固定業務、固定局及び移動局の定義に関する検討(WRC決議957))

入力文書：1B/132(Annex 5), 135 (WP 4A), 139 (WP 4C), 144 (WMO), 152 (中国)

出力文書：1B/TEMP/74

(1) 主要結果

中国が議長を務めるDG9.1.6においてCPMテキスト案が審議された。本会合に提出されたいずれの入力文書も前回会合で作成されたCPMテキスト案で結論づけられている「定義変更は不要である」との見解を支持するものであったことから特段の議論はなかった。中国がCPMテキスト案のエグゼクティブ・サマリーに一部情報を追記するなどの微細な変更を経てCPMテキスト案が完成した。

2.3 議題 9.1.7(緊急事態及び自然災害軽減のための周波数管理ガイドラインに関する検討(WRC決議647))

入力文書：1B/132(Annex 6), 143 (WP 6A), 151 (中国), 165(カナダ), 176 (WP 5A)

出力文書：1B/TEMP/75

(1) 主要結果

前回会合でドイツ提案により決議647の削除及び決議644に若干の修正を加えることで合意され、TEMP文書が作成されていたが、本会合においてDGによる審議が2回実施され(議長：米国)カナダ、中国からの入力文書を審議した結果、CPMテキスト案には以下の3つの案(Option)が記載されることで合意された。

Option A：決議644と647をマージして決議644を削除(カナダ提案)

Option B：決議647修正のみ(中国提案)

Option C：決議647削除、決議644若干修正(前回の議長報告Annex(ドイツ提案))

(2) 審議概要

決議 647 では緊急事態・災害対応向けの周波数管理のガイドライン作成を求めているが、CEPT 諸国はこのような追加ガイドラインは不要であるとの見解で概ね合意していることから決議 647 の削除を主張した (Option C)。特に決議 644 は災害軽減及び救援活動への情報通信資源の供与に関するタンペレ条約 (1998 年)² において直接的に言及されていることから、決議 644 を維持し、決議 647 にある内容を必要に応じて決議 644 に統合すべきであるとの見解であった。

これに対しカナダは決議 647 は国連の様々な組織で広く参照されているため安易に削除すべきでないとした上で、CEPT 提案とは逆の発想で決議 644 の内容を一部、決議 647 に統合することで決議 644 を削除する方が適切であるとした。

さらに、中国は決議 644 は多くの勧告や報告に参照されているためこれを削除すると混乱が起きるとしカナダ提案に反対した。具体的には決議 644 は NOC とした上で、決議 647 については内容を一部縮小し「緊急及び災害救援の際の最新の連絡先を BR に伝えるよう主管庁に奨励する」とする修正を提案した。

このように異なる Option が審議された結果、これらを集約・統合することはできなかつたため、前回の議長報告 Annex にある Option (CEPT による提案) に加え、カナダ提案、中国提案の合計 3 件の Option が CPM テキスト案に記載されることで合意された。

3 Working Group 1B-3 その他の事項 (議長: Mr. R.Chang (CHN))

入力文書: 1B/132 (Annexes 1,2,3,8,9,10), 134 Rev.1 (CG 議長), 146 (イスラエル), 150 (WP 7D), 154 (ロシア), 157 (中国), 158 (中国), 160 (米国), 163 (フランス), 166 (RG 議長), 168 (韓国), 169 (アルゼンチン), 172 (コロンビア)

出力文書: 1B/TEMP/76, 77, 78, 84, 85

【主要結果】

勧告 ITU-R SM.1603-1 (Spectrum redeployment as a method of national spectrum management)、報告 ITU-R SM.2012-3 (Economic aspects of spectrum management)、National Spectrum Management (NSM) ハンドブック、勧告 SM.1413-2: Radio communication Data Dictionary (RDD) の改訂文書が完成した。これら 4 件の出力文書はすべて SG1 に上程され、後に開催された SG1 においても特段大きな修正なく承認された。なお、デジタルディビデントに関する報告は本会合において完成させることが目標とされていたが、DG (議長: オランダ) で数回審議するも審議未了の箇所が残されていたことなどから未完成のままとなった。完成箇所のみを SG1 に上程する案も検討されたが、時期尚早とされ、ロシアを議長とする RG を新たに設置し、次回以降も継続審議することで合意された。

3.1 勧告 ITU-R SM.1603-1: Spectrum redeployment as a method of national spectrum management

入力文書: 1B/132 (Annex 1), 160 (米国), 168 (韓国)

出力文書: 1B/TEMP/77

² ただし、多くの国が未批准であり我が国もその一例である

(1) 主要結果

勧告 ITU-R SM.1603-1 は国際的な周波数割当ての変更や各国の事例提供、周波数効率の向上、また市場の要求を満たすための周波数管理ツールとしての周波数再編等を主題とするものである。本会合において、米国、韓国を入力文書を審議した結果、米国における 800 MHz 以下の Private Land Mobile 帯域の周波数再編事例が新たな Annex として追加されたほか、韓国の提案により免許不要周波数帯の周波数再編およびこれに伴う免許不要周波数帯の既存利用者に対する補償等に言及する記載が追記され、本勧告改訂案は完成した。同文書は後に SG1 へ上程され、承認された。

3.2 報告ITU-R SM.2012-3:Economic aspects of spectrum management

入力文書：1B/132(Annex 3)

出力文書：1B/TEMP/76

(1) 主要結果

本会合における同報告改訂に関する入力文書はなく、前回会合の議長報告に添付されていた文書（WP1B/132(Annex 3)）に一部微細な修正（韓国の事例紹介に含まれていた表の削除）が加えられた上で承認された。本報告の改訂内容は、これまで3年間の審議を経て5章に米国、ロシア、韓国、中国における主管庁の経験を事例として追加するものとなっている。なお、同文書は後に SG1 へ上程され、承認された。

3.3 National Spectrum Management (NSM) ハンドブック

入力文書：1B/132(Annex 9, 10), 146 (イスラエル), 150 (WP 7D), 158 (中国), 163 (フランス), 166 (RG 議長), 169 (アルゼンチン), 172 (コロンビア)

出力文書：1B/TEMP/85

(1) 主要結果

RG における審議結果、および本会合における入力文書が審議され、NSM ハンドブックが完成し、TEMP 文書は SG1 に上程された。SG1 における審議においては、一部、情報を更新すべき点を確認されたことから、SG1 カウンセラがエディトリアルに対応することで合意され、特段大きな議論・修正等なく承認された。

(1) 審議概要

周波数管理に果たす電波監視の役割を踏まえ、電波監視に関するセクションを第4章として追加した。その際、WP1C で作成された「電波監視ハンドブック」が存在している点を踏まえ、周波数管理の観点から重要と思われる内容を完結に統合する方向で合意された。本方針に従い、元 WP1C 議長（オランダ）が作成したテキスト案を現 WP1C 議長（ドイツ）やイスラエルが見直し、一部、追記・修正等をした上で完成した。第7章の周波数管理活動の自動化については、フランス提案により欧州における情報が Annex に追加され、他の Annex においても電波監視に関する記載は限定的にするなどの修正を経て完成した。

なお、コロンビアの入力文書に含まれていたモバイル通信技術規格の歴史的変遷をまとめた図において、iMode から W-CDMA FDD への進化が示されていなかったことから日本から修正を求めたところ、提出元のコロンビアが不在であったため WP1B で審議され、修正を加えることで合意された。

3.4 デジタルディビデントに関するPDNRep.

入力文書：1B/132(Annex 8), 154 (ロシア), 157 (中国)

出力文書：1B/TEMP/84

(1) 主要結果

本報告は本会合における完成を目指して CG（議長：オランダ）を設置した上で審議を継続してきたが、同文書で扱うスコープの策定等の本質的な側面も含めて、全体総意を形成することができなかったほか、入力文書の数も限定的であったことから未完成の箇所も残されていた。このような状況も含めて WP1B プレナリーで審議された結果、CG は ToR により本会合で作業を終了する予定となっていたこと、一方でデジタルディビデントに関する検討そのものは 2015 年まで継続できることといった点を鑑み、ロシアを議長として新たにラポータグループを設置し、次回会合（2015 年 6 月）における完成を目指すことで合意された。

(2) 審議概要

ロシア、中国からの入力文書を受け、本会合においても DG を設置して審議した。しかし、時間的制約や入力文書が限定的であったこともあり、途上国を含めデジタルディビデントを検討している主管庁にとって有益な情報も含まれてはいるものの、全体の構成としては審議未了、あるいは報告に含める記載として未完成の箇所が残されている文書しか完成させることができなかった。

このような状況を踏まえて、作業文書の中から完成した部分だけを抜粋し、SG1 に上程し、承認を仰ぐ案と、当初、本会合で完成させることを目標としていたが上記の事情から現時点における作業文書を次回会合へ持ち越し、来年も継続審議する案とが検討された。これに対し、本報告の審議を主導してきたロシアが、入力文書の数に限定的であり時間を延長しても大きな進展がなさそうであることから SG1 への上程案を推奨し、WP1B 議長がこれを支持した。一方で、スウェーデンは、各国の事例に関する情報は有益ではあるものの、報告全体の骨子としてはデジタルディビデントに関するガイダンスを提供するという観点から完成度が低いため、WP1B において追加審議が必要であると主張、イスラエルがこれを支持した。

議論の結果、コレスポネンスグループが ToR により本会合で作業を終了させる予定となっていたことも鑑み、ロシアを議長とする新たなラポータグループを設置し、次回会合（2015 年 6 月）における完成を目指すことで合意された。そのため、本報告作業文書は SG1 には上程されなかった。

3.5 勧告 SM.1413-2: Radio communication Data Dictionary (RDD)

入力文書：1B/132(Annex 2), 134 (Rev.1) (CG 議長)

出力文書：1B/TEMP/78

(1) 主要結果

本勧告の改訂作業自体は 2014 年 1 月に開催された WP1B において既に終了しており、本会合においては、文書量が多いことも考慮の上、全体的な確認・見直しを行うと共に、DG 参加者から寄せられたエディトリアルなコメント等に対応する作業が進められた。これらの審議を経て、同勧告の改訂作業は終了し、TEMP 文書は SG1 に上程され、後に SG1 においても特段の議論・修正等なく承認された。

表-2 入力文書一覧

文書番号	提出元	表題	
132	Chairman, WP 1B	Report on the meeting of Working Party 1B (Geneva, 20-28 January 2014)	WP 1B 会合報告
133	International Special Committee on Radio Interference	Liaison to ITU-R on the Database for the protection of radio services	無線サービス保護のためのデータベースに関する ITU-R へのリエゾン
134	Chairman, CG on rev. RDD	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.1413-2 - Radiocommunication Data Dictionary (RDD)	RDD に関する ITU-R 勧告 SM.1413-2 の暫定修正案
135	WP 4A	Liaison statement to Working Party 1B (copy to Working Party 4C for information) - WRC-15 agenda item 9.1, issue 9.1.6	WRC-15 議題 9.1.6 に関する WP 1B へのリエゾン文書
136	WP 4A	Liaison statement to Working Party 1B (copy to Working Party 4C for information) - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	コグニティブ機能をもった無線通信システムによる周波数へのダイナミックアクセスのための周波数管理原理や周波数エンジニアリング技術に関する ITU-R 暫定新報告案 SM.[DYNAMIC ACCESS]に向けた作業文書に関する WP 1B へのリエゾン文書
137	WP 5D	Liaison statement to Working Party 1B (copy to Working Parties 5A, 5B and 5C for information) - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	コグニティブ機能をもった無線通信システムによる周波数へのダイナミックアクセスのための周波数管理原理や周波数エンジニアリング技術に関する ITU-R 暫定新報告案 SM.[DYNAMIC ACCESS]に向けた作業文書に関する WP 1B へのリエゾン文書
138	ITU-T LS 07R1	FG Bridging the Gap from Innovation to Standards (FG Innovation) - Liaison statement on New Standardization Activities for ITU-T Study Groups and ICT Innovation Panel [to all ITU-T Study Groups, ITU-D Study Groups and ITU-R Study Groups]	イノベーションと標準の間のギャップを埋めることに関する FG (FG Innovation) ITU-T SG 及び ICT Innovation Panel に関する新標準活動についてのリエゾン文書
139	WP 4C	Liaison statement to Working Party 1B (copy to Working Party 4A for information) - WRC-15 agenda item 9.1, issue 9.1.6	WRC-15 議題 9.1.6 に関する WP 1B へのリエゾン文書
140	WP 4C	Liaison statement to Working Party 1B (copy to Working Party 4A for information) - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	コグニティブ機能をもった無線通信システムによる周波数へのダイナミックアクセスのための周波数管理原理や周波数エンジニアリング技術に関する ITU-R 暫定新報告案 SM.[DYNAMIC ACCESS]に向けた作業文書に関する WP 1B へのリエゾン文書
141	TU-T JCA-IoT	Liaison statement on IoT-Roadmap, IoT-work program, contacts and invitation to participate in IoT-GSI events	IoT-ロードマップ、IoT-作業プログラム、コンタクト、IoT-GSI イベントへの招待に関するリエゾン文書
142	WP 6A	Liaison statement to Working Party 1B - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	コグニティブ機能をもった無線通信システムによる周波数へのダイナミックアクセスのための周波数管理原理や周波数エンジニアリング技術に関する ITU-R 暫定新報告案 SM.[DYNAMIC ACCESS]に向けた作業文書に関する WP 1B へのリエゾン文書
143	WP 6A	Liaison statement to Working Party 1B - Broadcasting for Public Warning, Disaster Mitigation and Relief	公衆警報及び災害救援のための放送に関する WP 1B へのリエゾン文書
144	World Meteorological Organization	Liaison statement to Working Parties 1B, 4A, 4C, 5A, 5B, 7B, 7C, Joint Task Group 4-5-6-7 and the Special Committee as responsible Groups for WRC-15 agenda items 1.1, 1.3, 1.5, 1.6, 1.9, 1.10, 1.11, 1.12, 1.17, 1.18, 7, 9.1.1, 9.1.2., 9.1.5, 9.1.6, 9.1.8, 10 (copy to Working Party 5D)	WRC-15 議題 1.1, 1.3, 1.5, 1.6, 1.9, 1.10, 1.11, 1.12, 1.17, 1.18, 7, 9.1.1, 9.1.2., 9.1.5, 9.1.6, 9.1.8, 10 に関して責任のあるグループとして、WP 1B, 4A, 4C, 5A, 5B, 7B, 7C, JTG 4-5-6-7 及び SC へのリエゾン文書
145	International Civil Aviation Organization	Liaison statement to Working Party 1B (copied to Working Party 4A, 4C, 5B, IMO and WMO for information) - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	コグニティブ機能をもった無線通信システムによる周波数へのダイナミックアクセスのための周波数管理原理や周波数エンジニアリング技術に関する ITU-R 暫定新報告案 SM.[DYNAMIC ACCESS]に向けた作業文書に関する WP 1B へのリエゾン文書
146	Israel	NSM-HB revision of Annex 1 - Spectrum management training	NSM-HB の Annex 1 周波数管理トレーニングの修正

文書番号	提出元	表題	
147	WP 7B	Liaison statement to Working Party 1B (copy to Working Parties 7C and 7D for information) - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	コグニティブ機能をもった無線通信システムによる周波数へのダイナミックアクセスのための周波数管理原理や周波数エンジニアリング技術に関する ITU-R 暫定新報告案 SM.[DYNAMIC ACCESS]に向けた作業文書に関する WP 1B へのリエゾン文書
148	WP 7C	Liaison statement to Working Party 1B - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	コグニティブ機能をもった無線通信システムによる周波数へのダイナミックアクセスのための周波数管理原理や周波数エンジニアリング技術に関する ITU-R 暫定新報告案 SM.[DYNAMIC ACCESS]に向けた作業文書に関する WP 1B へのリエゾン文書
149	WP 7D	Liaison statement to Working Party 1B (copy to Working Parties 1A, 7B and 7C for information) - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	コグニティブ機能をもった無線通信システムによる周波数へのダイナミックアクセスのための周波数管理原理や周波数エンジニアリング技術に関する ITU-R 暫定新報告案 SM.[DYNAMIC ACCESS]に向けた作業文書に関する WP 1B へのリエゾン文書
150	WP 7D	Liaison statement to Working Parties 1A and 1B - Revision of the ITU Handbook on "National Spectrum Management"	ITU ハンドブック「国家周波数管理」に関する WP 1A 及び 1B へのリエゾン文書
151	China	Working document towards draft CPM text on WRC-15 agenda item 9.1, issue 9.1.7	WRC-15 議題 9.1.7 に関する CPM テキスト案に向けた作業文書
152	China	Working document towards draft CPM text on WRC-15 agenda item 9.1 issue 9.1.6	WRC-15 議題 9.1.6 に関する CPM テキスト案に向けた作業文書
153	Russian Federation	Proposals for revision of working document towards a PDN Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio system employing cognitive capabilities	コグニティブ機能をもった無線通信システムによる周波数へのダイナミックアクセスのための周波数管理原理や周波数エンジニアリング技術に関する ITU-R 暫定新報告案 SM.[DYNAMIC ACCESS]に向けた作業文書の修正案
154	Russian Federation	Working document towards a draft new Report ITU-R SM. [DIGITAL DIVIDEND ISSUES] - Proposals towards a draft new Report ITU-R SM.[DIGITAL DIVIDEND ISSUES]	ITU-R 新報告案 SM. [DIGITAL DIVIDEND ISSUES]に向けた作業文書
155	China	Proposal for management policy of wireless power transmission devices	無線電力伝送機器の管理政策への提案
156	China	Proposed contribution to the working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM. [DYNAMIC ACCESS]	ITU-R 暫定新報告案 SM. [DYNAMIC ACCESS] に向けた作業文書への寄与案
157	China	Considerations about [DIGITAL DIVIDEND] issues and modification proposal on Annex 8 of Working Party 1B Chairman's Report	WP 1B 議長報告の Annex 8 に関する[DIGITAL DIVIDEND]問題と修正案に関する考察
158	China	Working document toward a preliminary draft revision of Chapter 8 - Measures of spectrum utilization and spectrum utilization efficiency	第 8 章周波数の利用状況測定及び周波数の有効利用の暫定修正案に向けた作業文書
159	Netherlands	Possible allocation for intra chip communication in the 200-600 GHz range	200-600GHz 帯のチップ間通信のための可能な割当
160	United States of America	Working document towards a revision of Recommendation ITU-R SM.1603-1 spectrum redeployment as a method of national spectrum management - Spectrum redeployment as a method of national spectrum management	国家周波数管理の方法としての周波数再分配に関する ITU-R 勧告 SM.1603-1 の修正に向けた作業文書
161	United States of America	Preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	ITU-R 暫定新報告案 SM.[DYNAMIC ACCESS] コグニティブ機能をもった無線通信システムによる周波数へのダイナミックアクセスのための周波数管理原理
162	Germany	How measurement of spectrum occupancy can help spectrum management	周波数管理を支援する手段としての周波数占有率測定
163	France	Proposal regarding the update of ITU Handbook on "National Spectrum Management"	ITU ハンドブック「国家周波数管理」の更新に関する提案
164	Canada	Proposed modifications to working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM. [DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	ダイナミックアクセスに関する作業文書への修正案
165	Canada	Proposed modifications to working document towards draft CPM text - WRC-15 agenda item 9.1, issue 9.1.7	WRC-15 議題 9.1.7 に関する CPM テキスト案に向けた作業文書への修正案
166	Rapp. RG WP 1B rev. ITU H'book "N.S.M."	Report of the activities of the Rapporteur Group	ラポーターグループの活動報告

文書番号	提出元	表題	
167	Korea	This document has been withdrawn	本文書は撤回
168	Korea	Working document towards a preliminary draft modification towards Recommendation ITU-R SM.1603-1	ITU-R 勧告 SM.1603-1 に対する暫定修正案に向けた作業文書
169	Argentine	Working document towards a preliminary draft revision of the ITU Handbook on "National spectrum management " - Chapter 5 - Spectrum Engineering Practices	ITU ハンドブック「国家周波数管理」第5章周波数エンジニアリングプラクティスに関する暫定修正案に向けた作業文書
170	WP 5C	Liaison statement to Working Party 1B (copied for information to Working Parties 5A and 5B) - Development of a draft new Report ITU-R SM.[WHITE-SPACE] spectrum management principles and spectrum engineering techniques for the use of "White spaces" by radio systems employing cognitive capabilities	ITU-R 新報告案 SM.[WHITE-SPACE]に関する WP 1B へのリエゾン文書 (WP 5A 及び 5B へ情報提供として送付)
171	France	Proposal to develop a new ITU-R Report on innovative regulatory tools to support enhanced shared use of the spectrum	周波数の共同利用を促進するための革新的な規制事項に関する ITU-R 新報告提案
172	Colombia	Chapter 2 - Spectrum planning	第二章 周波数計画
173	WP 5B	Liaison statement to Working Party 1B (copied for information to ITU-R Working Parties 5A, 5C and 5D) - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS]	ITU-R 暫定新報告案 SM.[DYNAMIC ACCESS] に関する WP 1B へのリエゾン文書
174	WP 5A	Liaison statement to Working Party 1B (copied to Working Parties 5B, 5C and 5D for information) - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	コグニティブ機能をもった無線通信システムによる周波数へのダイナミックアクセスのための周波数管理原理や周波数エンジニアリング技術に関する WP 1B へのリエゾン文書
175	ATDI	White space device management	ホワイトスペース機器管理
176	WP 5A	Reply liaison statement to Working Party 1B - WRC-15 agenda item 9.1, issue 9.1.7 - Resolution 647 (Rev. WRC-12)	WRC-15 議題 9.1.7 決議 647 (Rev. WRC-12) に関する WP 1B への返信リエゾン文書
177	BR Study Groups Department	List of documents issued (Documents 1B/132 - 1B/177)	発行文書リスト (文書 1B/132 - 1B/177)
178	WP 1C	Note from the Chairman of Working Party 1C to the Chairman of Working Party 1B - Assessment of Document 1C/107 (1B/162) by Working Party 1C - How measurement of spectrum occupancy can help spectrum management	周波数管理を支援する手段としての周波数占有率測定に関する文書 1C/107 (1B/162) の評価に関する WP 1C 議長からの連絡
179	Director, BR	Contribution from the Telecommunication Development Bureau on the ITU Handbook on National Spectrum Management	ITU ハンドブック「国家周波数管理」に関する電気通信開発局からの寄与
180	Director, BR	Final list of participants - Working Party 1B (Geneva, 3-11 June 2014)	WP 1B 最終参加者リスト

表-3 出力文書一覧

文書番号	表題		備考 (提出元)
72 (Rev.1)	Draft liaison statement to CISPR (copy to ITU-R WP 6A) - A database for the protection of radio services	無線サービス保護に係るデータベースに関する CISPR へのリエゾン文書案 (ITU-R WP 6A へ情報提供として送付)	WP 1A, WP 1B
73	Draft CPM text on WRC-15 agenda item 9.1, issue 9.1.4 - Resolution 67 (WRC-12) - Updating and rearrangement of the Radio Regulations	WRC-15 議題 9.1 (Issue 9.1.4) に関する CPM レポート案	WG 1B-2
74	Draft CPM text on WRC-15 agenda item 9.1, issue 9.1.6 - Resolution 957 (WRC-12) - Studies towards review of the definitions of fixed service, fixed station and mobile station	WRC-15 議題 9.1 (Issue 9.1.6) に関する CPM レポート案	WG 1B-2
75	Draft CPM text - WRC-15 agenda item 9.1, issue 9.1.7 - Resolution 647 (Rev. WRC-12) - Spectrum management guidelines for emergency and disaster relief radiocommunication	WRC-15 議題 9.1 (Issue 9.1.7) に関する CPM レポート案	WG 1B-2
76 (Rev.1)	Draft modification of Report ITU-R SM.2012-3 - Economic aspects of spectrum management	周波数管理の経済的側面に関する ITU-R レポート SM.2012-3 の修正案	WG 1B-3
77	Draft modification of Recommendation ITU-R SM.1603-1 - Spectrum redeployment as a method of national spectrum management	国家周波数管理の手段としての周波数再分配に関する ITU-R 勧告 SM.1603-1 の修正案	WG 1B-3
78	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R SM.1413-2 - Radiocommunication Data Dictionary (RDD)	無線データ辞書 (RDD) に関する ITU-R 勧告 SM.1413-2 の暫定修正案	WG 1B-3
79	Note from the Chairman of WP 1A to the Chairman of WP 1B on wireless power transmission	無線電力伝送に関する WP 1A 議長からの連絡	WP 1A
80	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[INNOVATIVE REGULATORY TOOLS] - Innovative regulatory tools to support enhanced shared use of the spectrum	刷新的な規制ツールに関する PDNRep	WG 1B-1
81	Terms of Reference of the WP 1B Correspondence Group on SRD classification	SRD 分類に関する ToR	WG 1B-1
82	Liaison statement to Working Parties 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles and spectrum engineering techniques for dynamic access to spectrum by radio systems employing cognitive capabilities	ダイナミックアクセスに関するリエゾン文書	WG 1B-1
83	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[DYNAMIC ACCESS] - Spectrum management principles, challenges and issues related to radio systems employing cognitive capabilities	ダイナミックアクセスに関する PDNRep に向けた作業文書	WG 1B-1
84	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM. on [DIGITAL DIVIDEND ISSUES] - The challenges and opportunities for spectrum management resulting from the transition to digital terrestrial television in the VHF and UHF bands	DD に関する PDNRep に向けた作業文書	WP1B-3
85	Preliminary draft revision of the ITU Handbook on "National Spectrum Management"	国家周波数に関する ITU ハンドブック暫定修正案	WG 1B-3
86	Summary Report of the activities of Working Group 1-B1 - Short range devices (SRDs) related issues	SRD に関する活動報告サマリー	WG 1B-1